



2023年度

国際学術研究科 国際学術専攻

学生募集要項

I 期入試・II 期入試・III 期入試・III 期B日程

【学位プログラム制】

博士前期課程・修士課程

学位プログラム名	学位
グローバルコミュニケーション実践研究学位プログラム (日本語教員養成大学院課程含む)	修士(グローバルコミュニケーション)
心理学実践研究学位プログラム (公認心理師・臨床心理士・専門健康心理士養成課程含む)	修士(心理学)
経営学学位プログラム	修士(経営学)
大学アドミニストレーション実践研究学位プログラム (通信教育課程)	修士(大学アドミニストレーション)
老年学学位プログラム	修士(老年学)

博士後期課程

学位プログラム名	学位
国際学術研究学位プログラム (経営学研究領域、心理学研究領域)	博士(学術)
老年学学位プログラム(老年学研究領域)	博士(老年学)

【重要】

新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、「面接・実技」試験はオンライン会議システム(Zoom)を利用して実施します。受験者は自宅等から「面接・実技」試験を受験することとなります。そのため、試験当日はキャンパスへ来校する必要はありません。

●この冊子の情報は2022年6月現在の情報に基づくもので、新型コロナウイルス感染症の影響など諸般の事情により変更になる場合があります。変更が生じた場合には、本学大学院サイトにて随時お知らせします。

※出願時点で「日本に居住しておらず、かつ日本国内の教育機関に在籍していない」受験生は、I期入試、II期入試、III期入試の受験はできません。「学生募集要項 日本以外の国・地域在住者」を確認してください。



桜美林大学 大学院

J. F. Oberlin University Graduate Division

目次

出願から入学手続きまでの流れ	01
博士前期課程・修士課程	
1. 研究科・専攻・学位プログラム・募集人員	02
2. 出願資格	02
各選抜方式別の出願条件	03
3. 入試日程等	04
博士前期課程・修士課程	04
4. 審査内容	05
グローバルコミュニケーション実践研究学位プログラム	05
心理学実践研究学位プログラム	05
経営学学位プログラム	05
大学アドミニストレーション実践研究学位プログラム (通信教育課程)	05
老年学学位プログラム	05
5. 出願書類	06
博士後期課程	
1. 研究科・専攻・学位プログラム・募集人員	08
2. 出願資格	08
3. 事前相談(必須)	08
4. 入試日程・試験内容等	09
国際学術研究学位プログラム	09
老年学学位プログラム	09
5. 出願書類	10
個別の入学資格審査	
「個別の入学資格審査」について	11
出願～入学手続／学納金	
1. 出願上の注意	12
2. 事前相談について	12
3. 受験料	12
4. 試験当日の注意	13
5. オンライン面接における注意事項	13
6. 合否照会・合否通知(振込用紙)	13
7. 入学手続等(学納金の納入について)	13
奨学金制度等・給付制度等	
1. 奨学金制度等	15
2. 長期履修生制度・短期履修生制度について	15
3. 学而事人奨学金	16
4. 私費留学生奨学金	17
学生寮・住まい紹介	
1. 学生寮	18
2. 住まい紹介	18
3. 入学後の学生生活について	18
主たる授業拠点について	
主たる授業拠点一覧	19

養成する人材等 桜美林大学大学院学則第3条の4

国際学術専攻の人材養成等に関する目的は、次のとおりとする。
国際学術専攻は、高度な知的基盤社会に十分貢献できる複合的な学修及び学際的な研究活動を通じて、高次プロフェッショナルとして社会で活躍できるべく、グローバル社会のニーズに一層適応した高度専門職業人及び研究者の養成等を目的として、教育研究を行う。

博士前期課程・修士課程学位プログラムの人材養成等に関する目的は、次のとおりとする。

- (1) グローバルコミュニケーション実践研究学位プログラムは、グローバル社会にあって、幅広いコミュニケーションの理論と実践に係る教育研究を行い、高度な知識、実践力及びリーダーシップを備えたグローバルな視点に立ち架け橋となる人材の養成等を目的として、教育研究を行う。
- (2) 心理学実践研究学位プログラムは、臨床心理学、ポジティブ心理学を基礎学問として、心の健康や豊かな生活に関する研究と実践を行い、心の専門家及び優れた研究者の養成等を目的として、教育研究を行う。
- (3) 経営学学位プログラムは、複雑化する国際競争社会において、的確な企業経営の判断が下せる知識、スキル、発想、戦略的思考、変化への柔軟性、ナレッジ変換・コンセプト化、リスクテイクを兼ね備えた高度専門職業人の養成等を目的として、教育研究を行う。
- (4) 大学アドミニストレーション実践研究学位プログラム(通信教育課程)は、大学の行政・管理・運営にわたる専門的知識・能力を有する大学アドミニストレーター(大学経営の専門家)の養成等を目的として、教育研究を行う。
- (5) 老年学学位プログラムは、高齢者のより広範な社会的参加を実現するための専門的知識・能力を有する高度専門職業人及び研究者の養成等を目的として、教育研究を行う。

博士後期課程学位プログラムの人材養成等に関する目的は、次のとおりとする。

- (1) 国際学術研究学位プログラムは、高度な知的基盤社会に十分貢献できる複合的な学修及び学際的な研究活動を通じて、高次プロフェッショナルとして社会で活躍できるべく、グローバル社会のニーズに一層適応した高度専門職業人及び研究者の養成等を目的として、教育研究を行う。
- (2) 老年学学位プログラムは、学際的な視点から、高齢社会の諸問題を的確に研究し、解明する能力を有する高度な専門研究者、及び実践的応用の可能な能力を有する高度専門職業人の養成等を目的として、教育研究を行う。

桜美林大学大学院のアドミッションポリシー (学生の受入れ方針)

■ 輩出する学生像

桜美林学園の建学の精神である「キリスト教主義に基づくこと。そして語学を身につけた国際人を育成すること」を基本理念とし、各学位プログラムの特徴に沿って、専門及び実践を通して学問及び社会への貢献を目指す人物を育成します。

修士課程及び博士前期課程においては、それぞれの専門分野における精深な学識を修得し、当該専門分野における研究能力又は高度の専門性が求められる職業を担うために必要な卓越した能力が持てるように養成します。

博士後期課程においては、当該専門分野について、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するために必要な研究能力及びその基礎となる豊かな学識が持てるように養成します。

■ 求める入学者

本大学院は、桜美林学園の建学の精神に共感し、本大学院の特徴である連合型大学院である利点を活かし、これからの知識基盤社会に必要な多角的な視野と知識を有するために、学際的な研究や複合的な学びを主体的に進めることができる人材を求めます。

また、国や地域を越えて異なる価値観を持つ人々と共同研究や実践現場での活動を積極的に図ることのできる人材を国や地域を問わず幅広く求めます。

■ 入学までに身につけて欲しい能力と選抜方法

入学を希望する学生には、以下のことを身につけて入学してくることを求めます。

なお、選抜は、各学位プログラムの特性も踏まえ入学選抜制度を通じて多角的に評価します。学位プログラムによって評価ポイントが異なることから個別の入学者受入れの方針を確認してください。

博士前期・修士課程においては、学士課程で求められた基礎的な能力及び専門や教養での知識や技能を修めていること。希望する学位プログラムにおいて、これまでの学びや経験を通して、自らや社会に対して問題や課題意識を持ち、深い探求心や課題解決に向けた強い意欲があること。さらに将来において、研究分野や高度な専門性を要する職業においてその能力を活かし社会に貢献する意思があること。

博士後期課程においては、博士前期・修士課程で求められた専門知識や技能と確かな研究実績を修めていること。

これに基づき、研究者として自立して創造的な研究活動を行う意欲があること、

又は高度に専門的な研究や職業に従事するために必要な豊かな学識と幅広い視点での研究を志す意思があること。

■ 入学者選抜の基本方針

桜美林学園の建学の精神である「キリスト教主義に基づくこと。そして語学を身につけた国際人を育成すること」を基本理念とし、各学位プログラムの特徴に沿って、専門及び実践を通して学問及び社会への貢献を目指す人物を育成します。

その上で、学園の行動指針である「学而事人(がくじじじん) (学んだことを人や社会のために役立てる) の精神を受け継ぎ、学園から巣立った後、困難な課題にも立ち向かい社会で活躍することを強く期待します。

そのために、国や地域を越えて異なる価値観を持つ人々と共同研究や実践現場での活動を積極的に図ることのできる人材を国や地域を問わず幅広く求めます。

なお、入学者選抜では、これからの知識基盤社会に必要な多角的な視野と知識を有するために、学際的な研究や複合的な学びを主体的に進めることができる人材であるかの評価を行います。

● 博士前期課程及び修士課程における入学者選抜

博士前期課程及び修士課程においては、学士課程で求められた基礎的な能力及び専門や教養での知識や技能の修得に関する評価を行います。

また、希望する学位プログラムにおいて、これまでの学びや経験を通して、自らや社会に対して問題や課題意識を持ち、深い探求心や課題解決に向けた強い意欲に関する評価を行います。

さらに将来において、研究分野や高度な専門性を要する職業においてその能力を活かし社会に貢献できる意思や実現性に関する評価を行います。

なお、いずれの学位プログラムにおいても、「一般」、「外国人留学生」、「社会人」枠組みで入学者選抜を行います。

● 博士後期課程における入学者選抜

博士後期課程においては、博士前期・修士課程で求められた専門知識や技能と確かな研究実績を修めているかを確認します。

これに基づき、研究者として自立して創造的な研究活動を行う意欲があること、又は高度に専門的な研究や職業に従事するために必要な豊かな学識と幅広い視点での研究を志す意思や実現性に関する評価を行います。

各学位プログラムのアドミッション・ポリシー (学生の受入れ方針)

■ グローバルコミュニケーション実践研究学位プログラム (修士課程)

[概要] グローバル社会における幅広いコミュニケーションの理論と実践に係る教育研究を行い、高度な知識、実践力及びリーダーシップを備えたグローバルな視点を持った人材養成を目的としています。

また、多様化する日本語学習のニーズに対応するための「理論」と「実践」をバランスよく修得できるように、科目を用意し、高度な理論と実践に基づく研究能力を備えた教員の養成とともに、国内外で日本語教育に従事する現職者のリカレント教育(研修)も目的としています。

[求める学生像]

- 言語状況の多様性を理解し、教育的対応力を高め、ステップアップを図りたい方
- 日本語教育プログラムの開発と評価にかかわる理論と実践を学びたい方
- e-ラーニングを活用した日本語教育を実践したい方
- 多言語・多文化に柔軟に対応し、専門性と国際性をいかし国内外で貢献したい方

■ 心理学実践研究学位プログラム (博士前期課程)

臨床心理学、ポジティブ心理学を基礎学問として、心の健康や豊かな生活に関する研究と実践を行い、心の専門家及び優れた研究者の養成を目的としています。特に、人々の心身の健康を維持増進するための専門的知識を深め、援助能力を向上させることや、心の健康のための心理査定やカウンセリング・心理療法あるいは心理教育等様々な臨床心理学的援助に貢献する研究を行います。プログラム修了時には、心の専門家としての専門的知識と実践力のある公認心理師及び臨床心理士、専門健康心理士等の高度な専門職業人として社会で学びを活かすことが期待されます。

[求める学生像]

- 臨床心理学及び健康心理学、心理学に関する学士課程修了相当の基礎的な知識を修得している方
- 臨床心理学的援助及び対人援助に携わるための心理的安定性、共感能力のある方
- 他職種とのチームワークを行うためのコミュニケーション能力のある方
- 臨床心理学に関する研究を行うための論理的思考能力がある方
- 地域の医療や福祉、教育機関、企業等において健康心理学を基礎とした介入実践を目指す方
- 医療や福祉、教育等の現場で既に実践を行っており、そのキャリアアップを目指す方

■ 経営学学位プログラム (博士前期課程)

複雑化する国際競争社会において、的確な企業経営の判断が下せる知識、スキル、発想、戦略的思考、変化への柔軟性、ナレッジ変換・コンセプト化、リスクテイク、これらを兼ね備えた学術研究者や高度専門職業人の養成等を目的としています。特に経営学研究コースでは、様々な業種・職種で能力を発揮できるジェネラリストや、経営を学術的な視点から知性的に考察できる研究者の養成に重きを置いています。

一方MBAコースでは、エンターテインメント産業やアジアをフィールドとしたビジネス、そして企業や組織において新たなビジネスモデルを創造できる高度専門職業人の養成に焦点を定めています。

【求める学生像】

- 豊かな見識と、高度な専門知識やスキルを身につけた経営の学術研究者や高度専門職業人を指す方
- 経営学を学んできた学部卒業生から社会人に至るまで、理論・実践の両面で高度な技術・ノウハウの修得を目指し、専門性を深める意欲のある方

■ 大学アドミニストレーション実践研究学位プログラム* (修士課程) (通信教育課程)

大学の行政・管理・運営にわたる専門的知識・能力を有する大学アドミニストレーター (大学経営の専門家) の養成を目的としています。

【求める学生像】

- 高等教育に対する高い関心を持ち、大学経営のエキスパートを目指す、意欲に溢れた方
- 大学等の教育研究機関・高等教育関係団体・国及び地方の政府機関・教育関係企業の従事者で上記の関心・意識を持つ方

*大学アドミニストレーション実践研究学位プログラムは、選択する科目により、通信機器を使用した授業と面接 (対面) 形式の授業のコンビネーションを導入しています。

■ 老年学学位プログラム (博士前期課程)

安全で安心して生活できる高齢社会の実現と、高齢者の生活の質を高めるための支援を実現するための専門的知識を有する高度専門職業人、及び研究・教育者の養成を目的としています。

【求める学生像】

- 高齢社会や老年期の諸課題への関心を持ち、解決すべき課題を持っており、自分の専門だけでなく学際的に老年学の学修と研究を行う意欲のある方
- アジアをはじめとする諸外国における高齢社会の諸問題の解明を目指している方 (留学生や海外での活動を考えている日本人を含む)
- 学士課程を卒業し、将来就く職業に関して、高齢者とのコミュニケーションや高齢者に関する知識が有用かつ必要であり活用できると考えている方
- 多種多様な職業に、高齢者や高齢社会に関する知識を有効に活用しようとする基礎的学力と意欲のある方
- 高齢社会や高齢者の問題に関する理解を深め、修得した知識を、自分自身の生き方や地域社会での活動に活かしたいと考えている方
- 専門や背景は問わず、それぞれの専門領域の基礎知識を有し、それを高齢社会、高齢者、長寿、加齢、老化、生涯発達等の領域の諸課題と結びつけて捉える能力と、その能力を獲得する可能性を有している方

■ 国際学術研究学位プログラム (博士後期課程)

経営学、心理学の学術分野について、国際的に通用する学術的研究者や高度な専門職業人の養成等を目的としています。

【求める学生像】

- 高度な知的基盤社会に十分貢献できる複合的な学修及び学際的な研究活動を通じて、高次プロフェッショナルとして社会で活躍できるべく、経営学、心理学の分野について強い関心と高い目的意識を持ち、学術的研究者もしくは専門的職業人を目指そうとしている方

■ 老年学学位プログラム (博士後期課程)

学際的な視点から高齢社会の諸問題と諸課題の解明と対処法の確立を可能とする高度な専門的能力を有する研究・教育者及び専門職者の養成を目的としています。

【求める学生像】

- 自分自身の研究領域を前提にして、他の専門領域との協働により、学際的な研究を通して、老年学に関する基礎及び応用研究を行う基礎的能力と意欲がある方
- 学際的研究のコーディネーターやリーダーになる基礎的学力と意欲のある方

出願から入学手続きまでの流れ

1



入試日程・出願書類等を確認する

2



インターネット出願サイトにログインする
(本学HP内、「大学院」のページより)
<https://admissions-office.net/ja/portal/15>

3



志願者情報、出願書類等を登録する

4



支払方法を選択して受験料を支払う

- コンビニエンスストアまたはクレジットカードを選択してください。クレジットカードを選択した場合、上記③の登録完了と同時に支払いが完了となります。
- 受験料の納入後は、出願内容の変更、受験料の返還が一切できません。納入前に、出願内容の確認を必ず行ってください。

5



受験票を出願サイトの個人ページから確認する

- 受験票発行開始日より前に、受験票を発行・印刷することはできません。

6



試験を受験する

- 上記⑤で確認した「受験票」を必ず手元に準備してください。

7



可否を出願サイトの個人ページにて確認する

- 合格通知の郵送は行っていません。

8



振り込み依頼書を出願サイトの個人ページより確認し、
入学手続き(入学金、授業料等の納入)を行う

- 振込用紙の郵送は行っていません。
- 入学手續締切日後の手續きは一切受け付けしません。

9



原本の提出が必要な出願書類を郵送する

- 出願サイトの個人ページで確認してください。
- 合格後(入学手續時)に提出された書類が出願時にアップロードした書類と異なる場合、または提出できない場合は、入学許可を取り消します。

【出願書類の郵送先】

〒194-0294 東京都町田市常盤町3758

桜美林大学入学部

Office of Admission and Enrollment

J. F. Oberlin University

3758 Tokiwa-machi, Machida-shi, Tokyo,

194-0294 Japan

博士前期課程・修士課程

1 研究科・専攻・学位プログラム・募集人員

研究科	専攻	学位プログラム	募集人員 ^{注1)}	試験内容等掲載ページ	
国際学術研究科	国際学術専攻	グローバルコミュニケーション実践研究学位プログラム	(30人程度)	P.5	
		心理学実践研究学位プログラム	臨床心理分野	(20人程度)	P.5
			ポジティブ心理分野	(20人程度)	P.5
		経営学学位プログラム	230人	(100人程度)	P.5
		大学アドミニストレーション実践研究学位プログラム (通信教育課程) ^{注2)}	(30人程度)	P.5	
		老年学学位プログラム	(30人程度)	P.5	

注1) 募集人員には2023年度9月入学者選抜(Ⅳ期入試)を含みます。

ただし、心理学実践研究学位プログラム(臨床心理分野)は2023年度9月入学者選抜(Ⅳ期入試)を実施しません。

注2) 日本国籍以外の者の出願も可能ですが、在留資格における「留学」活動とは認められません。スクーリング時のビザ取得について本学では代行申請等はいりません。

2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者または2023年3月31日までに該当する見込みのある者。

1. 大学を卒業した者
2. 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者
3. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
4. 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者
5. 我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程(文部科学大臣指定外国大学日本校^{*})を修了した者
* http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111316/001.htm
6. 外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者(施行規則第155条第1項第4号の2)
7. 指定された専修学校の専門課程(文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧^{*})を修了した者
* http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111316/002.htm
8. 旧制学校等を修了した者(昭和28年文部省告示第5号第1号～第4号、昭和30年文部省告示第39号第1号)
9. 防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者(昭和28年文部省告示第5号第5号～第12号、昭和30年文部省告示第39号第2号)
10. 文部科学大臣の指定した者
11. 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、
本大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
12. 本大学院において、「個別の入学資格審査」により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者(詳細については、P.11を確認してください。)

上記12.「個別の入学資格審査」の対象者は、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生やその他の教育施設の修了者など、大学卒業資格を有していない者であり、本大学院に入学する際に22歳に達している者です。

なお、大学アドミニストレーション実践研究学位プログラム(通信教育課程)を志望する者は、以下の要件を充足していれば、「個別の入学資格審査」の対象者となります。

- 出願時において教育機関に4年以上(常勤・非常勤は不問)の職務経験を持ち、2023年4月1日までに25歳に達している者

各選抜方式別の出願条件

〈グローバルコミュニケーション実践研究学位プログラム〉〈心理学実践研究学位プログラム〉
〈経営学学位プログラム〉〈老年学学位プログラム〉

一 般	日本国籍を有する者、または外国籍を有し在留資格が「永住者」「定住者」の者。
外国人留学生 (語学資格あり)	<p>外国籍を有し在留資格が「永住者」「定住者」以外の者で、以下のいずれかの資格を有する者。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「日本語能力試験(JLPT)」N1：(独)国際交流基金、(公財)日本国際教育支援協会実施 ●「実用日本語検定(J.TEST)」で700点(準B級)以上：日本語検定協会・J.TEST事務局主催 ●「日本留学試験(EJU)」で、日本語科目「読解・聴読解・聴解」300点以上、及び「記述」33点以上 ●「JPT(日本語能力試験)」660点以上：一般社団法人日本語能力試験実施委員会運営 ●「日本語NAT-TEST」1級：専門教育出版日本語NAT-TEST運営委員会実施 ●「J-CAT(Japanese Computerized Adaptive Test)」300点以上：一般社団法人日本語教育支援協会運営 <p>※各語学試験の有効期間は、各実施機関が定める有効期限に準ずる。 ※老年学学位プログラムにおいて、日本の大学(修業年限4年以上)の卒業者(卒業見込みの者含む)は、上記資格を有していない場合においても「外国人留学生(語学資格あり)」として出願を認める。</p>
社 会 人	日本国籍を有する者、または外国籍を有し在留資格が「永住者」「定住者」の者で、出願時に3年以上の常勤での職務経験(職種を問わず)がある者。なお、志願する専攻分野にかかわる非常勤職の経験年数は、0.5を乗じて算入することができる。

* 本学では合格者に対する在留資格認定証明書の代理申請は行いますが、ビザの代行申請等はいませんので予めご了承ください。

〈大学アドミニストレーション実践研究学位プログラム(通信教育課程)〉

一 般	日本国籍を有する者、または外国籍を有し在留資格が「永住者」「定住者」の者。
社 会 人	出願時に3年以上の常勤での職務経験(職種を問わず)を有する者。なお、教育関係分野での非常勤職の経験年数は、0.5を乗じて算入することができる。
社会人推薦	教育関係機関に所属し、所属長から推薦書(様式1号)が得られる者。この場合、上記社会人選抜の条件を満たさなくともよい。

「J-CAT」の受験について

「J-CAT(Japanese Computerized Adaptive Test)」で取得したスコアを出願資格として用いることができます。本学がオンラインの試験監督を伴う形で主催した試験のスコアのみ有効です。他団体主催の「J-CAT」や、個人でアカウントを申請し、受験した際のスコアは利用できません。

※新型コロナウイルス感染症の影響が収まり、日本語能力試験(JLPT)や日本留学試験(EJU)の受験機会が回復されている現状を踏まえて、本学での「J-CAT」受験の取り扱いを再検討するため、2022年6月現在、本学主催の「J-CAT」試験実施を休止しています。再開する場合は、本学ホームページでお知らせします。

3 入試日程等

博士前期課程・修士課程 国際学術研究科 国際学術専攻

入試日程等

		I 期	II 期	III 期	Ⅲ期B日程 ^{※2}
インターネット 出願	出願登録	2022年9月1日(木) ～9月7日(水)	2022年11月10日(木) ～11月16日(水)	2023年1月12日(木) ～1月18日(水)	2023年2月16日(木) ～2月21日(火)
	受験料 支払期限	2022年9月7日(水)	2022年11月16日(水)	2023年1月18日(水)	2023年2月21日(火)
受験票発行開始日		2022年9月29日(木)	2022年12月8日(木)	2023年2月9日(木)	2023年3月2日(木)
		15時から順次発行			
オンライン面接試験事前接続テスト (参加必須) ^{※1}		2022年10月3日(月) ～10月5日(水) 各日12:00～20:00	2022年12月12日(月) ～12月14日(水) 各日12:00～20:00	2023年2月13日(月) ～2月15日(水) 各日12:00～20:00	—
試験日		2022年10月8日(土)	2022年12月17日(土)	2023年2月18日(土)	(書類審査)
試験会場		オンライン			—
合格発表日		2022年10月14日(金)	2022年12月23日(金)	2023年2月24日(金)	2023年3月6日(月)
		合否照会の確認は10時から可能です			
入学手続締切日		2022年10月21日(金)	2023年1月10日(火)	2023年3月3日(金)	2023年3月13日(月)

※1 試験当日と同じ受験環境(使用機器・ネットワーク環境・利用する部屋等)で、オンライン面接の事前動作確認を行います。

事前接続テストの期間で都合の良い時間に、指定されたURL(オンライン上の部屋)へ入室してください。

オンライン筆記専門試験、オンライン記述試験、オンライン論述試験を受験する方は、別途試験実施方法について確認を行います。

詳細は、出願時に登録いただいたメールアドレスに別途通知します。

※「個別の入学資格審査」の提出期限はP.11を参照してください。

※審査の内容についてはP.5以降を参照してください。

※2 Ⅲ期B日程は、大学アドミニストレーション実践研究学位プログラム(通信教育課程)「社会人推薦」のみ実施いたします。

4 審査内容

下記学位プログラム別の選抜方式、試験内容を確認のうえ、受験してください。

学位プログラム	研究特域	選抜方式	試験内容・時間
グローバルコミュニケーション 実践研究学位プログラム	修士課程・ 日本語教員養成 大学院課程	一般 外国人留学生	①オンライン面接 (20分) ②口頭試問 (20分) 試問ではオンライン会議システム (Zoom) 画面共有機能で問題を提示する。うち自 身の研究テーマや学びたい領域に関連の 深い2問を選択し、5分後に試問を行う。
		社会人	①オンライン面接 (20分)
心理学実践研究 学位プログラム	臨床心理分野 (博士前期課程・臨床 心理士／公認心理師養 成課程)	一般 外国人留学生 社会人	①書類審査 ②オンライン筆記専門試験 (50分) ※受験者はオンライン会議システム (Zoom) に 接続した状態で、Googleフォームにて提示さ れた問題に回答を入力する。 オンライン筆記専門試験の際は、必ずカメラ 付きPCまたはカメラ付きタブレット (キーボ ード付) を使用すること。 ③オンライン面接 (20分) ②は午前、③は午後に行う予定
		一般 外国人留学生	①オンライン記述試験 (30分) ※受験者はオンライン会議システム (Zoom) に 接続した状態で、Googleフォームにて提示さ れた問題に回答を入力する。 オンライン記述試験の際は、必ずカメラ付き PCまたはカメラ付きタブレット (キーボード 付) を使用すること。 ②オンライン面接 (20分)
	社会人	①オンライン面接 (20分)	
	一般 (公認心理師資格コース) 社会人 (公認心理師資格コース)	①書類審査 ②オンライン論述試験 (50分) ※受験者はオンライン会議システム (Zoom) に 接続した状態で、Googleフォームにて提示さ れた問題に回答を入力する。 オンライン論述試験の際は、必ずカメラ付き PCまたはカメラ付きタブレット (キーボード 付) を使用すること。 ③オンライン面接 (20分)	
経営学学位プログラム	博士前期課程・ MBA養成課程	一般 外国人留学生	①オンライン面接 ②口頭試問 (資料をオンライン会議システム (Zoom) の画面共有機能で提示) ①② 計30分
		社会人	①オンライン面接 (20分)
大学アドミニストレーション 実践研究学位プログラム (通信教育課程)	修士課程	一般 社会人	①オンライン面接 (20分)
		社会人推薦	①書類審査
老年学学位プログラム	博士前期課程	一般 外国人留学生社会人	①オンライン面接 (20分)

※オンライン面接は、オンライン会議システム (Zoom) を利用して面接を行います。

5 出願書類

出願期間内に以下の書類をそろえて、出願サイト「The Admissions Office(以下TAO)」にて提出してください。


【注意】提出された各種証明書については、その発行機関(学校など)に対して照会を行う場合があります。

出願書類		形式	【提出上の注意】 注意事項をよく読み、書類を準備・作成してください。
1	<input type="checkbox"/> 志願者情報	TAOへ 直接入力 (一部アップロード)	<p>「志願者情報」の各項目について、直接入力、該当箇所へアップロードしてください。</p> <p>* 顔写真データもアップロードしてください。(正面、上半身、脱帽、背景無地) アップロードできるファイル形式は、JPEG(拡張子「.JPG」「.jpeg」とPNG(拡張子「.png」)です。</p> <p>* 写真は入学後の学生証明写真として利用します。スナップ写真、画質の悪いもの等は避けてください。</p>
2	<input type="checkbox"/> 志望理由書	TAOへ 直接入力	<p>志望する学位プログラムを選択し、直接入力してください。 (各学位プログラムによって設問が異なります。)</p>
3	<input type="checkbox"/> 研究計画書 ※該当の学位プログラム・分野のみ	PDF (スキャンデータ)	<p>「研究計画書」の該当箇所へ、PDF化した書類をアップロードしてください。</p> <p>* 以下の学位プログラムは提出必須となります(該当しない場合は提出自由)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローバルコミュニケーション実践研究学位プログラム ・心理学実践研究学位プログラム(臨床心理分野) ・心理学実践研究学位プログラム(ポジティブ心理分野 公認心理師資格コース) ・経営学学位プログラム ・老年学学位プログラム <p>* 作成方法(グローバルコミュニケーション実践研究学位プログラム以外)： インターネット出願の際に登録した「入学後の研究テーマ」について、先行研究、目的、方法、予測される結果等を具体的に記述してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A4判の用紙に横書きで、2～3枚程度で作成してください。 ・表紙は付けず、冒頭に「研究計画書」と表記した上、研究テーマと氏名を明記してください。上下左右の余白は15mm以上空け、下余白中央には、「ページ番号／総ページ数」を記入してください。 <p>* 作成方法(グローバルコミュニケーション実践研究学位プログラム)： 修士課程における2年間の研究について、テーマを明記したうえで、以下の点について2,000字程度で具体的に述べてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 内容 <ol style="list-style-type: none"> (a) 研究テーマを選んだ動機(問題意識) (b) 究の目的と意義 (c) データの収集方法および手順(研究のためにはデータが必要です。どこからどのようにデータを得るか、手順も含めて述べてください。) 2. 研究テーマを決めるにあたって参照した(文献)をあげてください。 <p>注意事項：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A4用紙2枚程度にまとめてください。(手書き不可) ・研究テーマと氏名をはじめに必ず書いてください。 ・上記2の(文献)は最後にまとめてあげてください。
4	<input type="checkbox"/> 職務内容報告書 ※社会人選抜、社会人推薦選抜、または「個別の入学資格審査」の申請者のみ	PDF (スキャンデータ)	<p>「職務内容報告書」の該当箇所へ、PDF化した書類をアップロードしてください。</p> <p>* 今日に至るまでの職務内容(研究業績等を有する場合はそれを含む)を記述してください。</p> <p>* A4判の用紙に横書きで作成してください。</p> <p>* 表紙は付けず、冒頭に「職務内容報告書」と表記した上、氏名を明記してください。上下左右の余白は15mm以上空け、下余白中央には、「ページ番号／総ページ数」を記入してください。</p>
5	<input type="checkbox"/> 推薦書 様式1号 ※社会人推薦選抜のみ	PDF (指定様式あり)	<p>「推薦書」の該当箇所へ、PDF化した書類をアップロードしてください。</p> <p>* 職場の所属長による記入・押印したものを提出してください。</p>

出願書類		形式	【提出上の注意】 注意事項をよく読み、書類を準備・作成してください。
6	<input type="checkbox"/> 日本語語学資格証明書 ※外国人留学生選抜の該当者のみ	PDF (スキャンデータ)	「日本語語学資格証明書」の該当箇所へ、PDF化した書類をアップロードしてください。 * 各語学試験の有効期間は各実施期間が定める有効期限内に準じてください。 * スコア・級の基準については、P.3各選抜方式別の出願条件を確認してください。
7	<input type="checkbox"/> 成績証明書	PDF (スキャンデータ)	「出身校証明書類」の該当箇所へ、PDF化した書類をアップロードしてください。 * 出願資格にかかわる最終出身大学等の発行によるものを提出してください。 * 成績証明書に入学年月と修了(卒業)年月が明記されている場合は、修了(卒業)証明書の提出は不要です。
	<input type="checkbox"/> 卒業・修了証明書または卒業・修了見込証明書	PDF (スキャンデータ)	【注意】 合格後(入学手続時)に証明書の原本、もしくは原本証明がなされた複写の提出が必要になります。合格後(入学手続時)に提出された書類が出願時にアップロードした書類と異なる場合、または提出できない場合は、入学許可を取り消します。原本は必ず保管しておいてください。 出願時に卒業・修了見込証明書を提出した者は、入学までに卒業・修了証明書の提出が必要になります。
	<input type="checkbox"/> 成績証明書、卒業・修了証明書等の日本語訳 ※該当者のみ	PDF (スキャンデータ)	* 日本語または英語以外の言語の成績証明書、卒業証明書等を提出する場合は、日本語訳(志願者自身による翻訳可)をPDF化してアップロードしてください。
8	<input type="checkbox"/> 個別の入学資格審査結果の写し ※該当者のみ	PDF (スキャンデータ)	「個別の入学資格審査結果」の該当箇所へ、PDF化した書類をアップロードしてください。
9	<input type="checkbox"/> 大学学士課程における公認心理師指定科目(読み替え科目)履修確認表 <small>様式6-A号 様式6-E号</small> ※該当者のみ	PDF (指定様式あり)	「公認心理師指定科目履修確認表」の該当箇所へ、PDF化した書類をアップロードしてください。 * 心理学実践研究学位プログラム(ポジティブ心理分野)の公認心理師資格コースで出願する場合は必ず提出してください。 * 様式6-A号、様式6-E号のいずれか該当する様式を選び、提出してください。

外国籍の者(日本の在留資格「永住者」「定住者」を除く)

10	<input type="checkbox"/> 留学にかかる経費負担計画書 <small>様式3号</small>	PDF (指定様式あり)	「留学にかかる経費負担計画書」の該当箇所へ、PDF化した書類をアップロードしてください。 * 該当者のみ提出してください。
11	<input type="checkbox"/> 住民票の写し	PDF (スキャンデータ)	「住民票の写し」の該当箇所へ、PDF化した書類をアップロードしてください。 * 市・区役所等が発行する「住民票の写し」を提出してください。 アップロードできるファイルの拡張子は.pdf .png .jpeg .jpgです。 ファイルサイズの上限は20MBです。
12	<input type="checkbox"/> 日本語学校等の確認証明書 <small>様式4号</small>	PDF (指定様式あり)	「日本語学校・専門学校等証明書類」の該当箇所へ、PDF化した書類をアップロードしてください。 * 日本国内の学校等(日本語学校・専門学校等含む)に現在在籍している者、または最終学歴が日本国内の学校等(日本語学校・専門学校等含む)にあたる者は在籍した機関に依頼し、提出してください。
	<input type="checkbox"/> 日本語学校等の成績証明書	PDF (スキャンデータ)	* 出願時に日本の大学に学位取得を目的として在籍、もしくは既卒の場合、提出は不要です。 * 在籍期間が短く、「在籍校等の成績証明書」が提出できない(成績が出ていない)場合は、「確認証明書」および「在籍証明書」を提出してください。
13	<input type="checkbox"/> 在留資格認定証明書 大学代理申請願 <small>様式5号</small>	PDF (指定様式あり)	「在留資格認定証明書大学代理申請願」の該当箇所へ、PDF化した書類をアップロードしてください。 * 「在留資格認定証明書」の申請が必要な方は記入してください。 ※大学アドミニストレーション実践研究学位プログラム(通信教育課程)の出願者を除く。

 提出書類の不備のため、出願を受け付けられない場合があります。チェックリストを活用してください。

〈奨学金の申請者〉学而事人・私費留学生奨学金を希望する者は、P.16、P.17の申請資格を確認のうえ、申請書類も提出してください。

【重要】 本学はインターネット出願を導入しています。併せて、P.1 出願から入学手続きまでの流れを必ず確認してください。

博士後期課程

1 研究科・専攻・学位プログラム・募集人員

研究科	専攻	学位プログラム	募集人員
国際学術研究科	国際学術専攻	国際学術研究学位プログラム	15人
		老年学学位プログラム	

注) 募集人員には2023年度9月入学者選抜(Ⅳ期入試)を含みます。

2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者または2023年3月31日までに該当する見込みの者で、審査の対象となる修士論文(またはこれに代わる特定の課題についての研究の成果)があること。

- 修士の学位や専門職学位を有する者
- 外国において、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者
- 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者
- 我が国において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程(文部科学大臣指定外国大学(大学院相当)日本校^{*})を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者
* http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111317/001.htm
- 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- 大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、大学院において、修士の学位を有する者と同等の学力があると認められた者
- 文部科学大臣が指定した者
- 本大学院において、「個別の入学資格審査」により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、出願時に24歳に達した者(詳細につきましてはP.11を確認してください)
※なお、医学・歯学・薬学・獣医学に関わる6年制の学部を卒業したことのみをもって、これを修士課程相当とし、博士後期課程の入学資格が認められるわけではありません。
- 外国の学校、我が国において大学院の課程を有すると認定できる外国の教育施設及び国際連合大学の教育課程を履修し、専攻分野に関する高度の専門的知識及び能力並びに関連分野の基礎的素養を当該前期課程において修得又は涵養すべきものについての試験や、博士論文に係る研究を主体的に遂行するために必要な能力を当該前期課程において修得すべきものについての審査に相当するものの合格により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

「出願資格8」における「個別の入学資格審査」の対象者は、次の2つの要件をすべて満たした者です。

- ① 短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校を卒業または修了後、本学各研究科の関連分野での研究実績、あるいは高度な職務経験を有する者
- ② ①の研究実績や職務により取得した特許、著書、学術論文等において、修士の学位論文と同等以上の学術的価値が認められる実績が確認できる者

「出願資格9」により出願する者は次の書類を提出してください。

- 出身大学長等が作成(署名)したもので、下記の内容が記載された様式、添付書類

【様式例】

□□大学としては、本学の学生である◇◇◇◇氏は、「(審査名称)」に合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力を有する者であることを確認し、報告いたします。また、当該審査に関する以下の添付資料を同封します。

(外国語の場合は日本語訳を添付してください。)

【添付資料の例】

- ① 当該審査の合格の基準
- ② 当該審査の合格と当該大学における修士の学位の授与要件の関係を示す資料
- ③ 当該審査に合格した者と当該大学に編入学した他の大学の修士の学位を有する者の当該大学における博士の学位を授与するプログラムにおける取り扱いの関係を示す資料

3 事前相談(必須)

出願登録開始日前に希望する研究指導教員との「事前相談」を行ってください。

※万が一、事前相談を行わずに志願をされた場合は、志願を受け付けすることができませんので、了承ください。

詳細については、P.12を確認してください。

4 入試日程・試験内容等

国際学術研究科 国際学術専攻 国際学術研究学位プログラム 老年学学位プログラム

入試日程等

インターネット 出願	出願登録	2023年1月12日(木)～1月18日(水)
	検定料 支払期限	2023年1月18日(水)
受験票発行開始日		2023年2月9日(木) 15時から順次発行
オンライン面接試験事前接続テスト (参加必須)		2023年2月13日(月)～2月15日(水) 各日12:00～20:00 ※都合の良い時間にアクセスしてテスト実施(所要時間10分程度予定)
試験日		2023年2月18日(土)
試験会場		オンライン
合格発表日		2023年2月24日(金) 合否照会の確認は10時から可能です。
入学手続締切日		2023年3月3日(金)

出願登録開始日より前に**3事前相談**を必ず行ってください。

※「個別の入学資格審査」の提出期限はP.11を確認してください。

試験内容・時間割

- 国際学術研究学位プログラム(博士後期課程)
 - ①オンライン面接(40分)
 - 老年学学位プログラム(博士後期課程)
 - ①専門外国語試験
 - ※オンライン会議システム(Zoom)の画面共有機能を利用し、欧文の学術論文の要約などを示し、その内容について口頭で説明を求める
 - ※辞書の利用は可とする
 - ②オンライン面接
- ①② 計60分

5 出願書類

出願期間内に以下の書類をそろえて、出願サイト「The Admissions Office(以下TAO)」にて提出してください。

【注意】提出された各種証明書については、その発行機関(学校など)に対して照会を行う場合があります。

出願書類		形式	【提出上の注意】 注意事項をよく読み、書類を準備・作成してください。
1	<input type="checkbox"/> 志願者情報	TAOへ直接入力 (一部 アップロード)	「志願者情報」の各項目について直接入力、該当箇所へアップロードしてください。 *顔写真データもアップロードしてください。(正面、上半身、脱帽、背景無地) アップロードできるのファイル形式は、JPEG(拡張子「.JPG」「.jpeg」)とPNG(拡張子「.png」)です。 *写真は入学後の学生証明写真として利用します。スナップ写真、画質の悪いもの等は避けてください。
2	<input type="checkbox"/> 志望理由書	TAOへ直接入力	志望する学位プログラムを選択し、直接入力してください。 *研究指導を希望する教員名を必ず記入してください。
3	<input type="checkbox"/> 研究計画書	PDF (スキャンデータ)	「研究計画書」の該当箇所へ、PDF化した書類をアップロードしてください。 *インターネット出願の際に登録した「入学後の研究テーマ」について、先行研究、目的、方法、予測される結果等を具体的に記述してください。 *A4判の用紙に横書きで、2~3枚程度で作成してください。 *表紙は付けず、冒頭に「研究計画書」と表記の上、研究テーマと氏名を明記してください。上下左右の余白は15mm以上空け、下余白中央には、「ページ番号/総ページ数」を記入してください。
4	<input type="checkbox"/> 修士論文(またはこれに代わる研究報告書)のコピー	PDF (スキャンデータ)	「修士論文」の該当箇所へ、PDF化した書類をアップロードしてください。
	<input type="checkbox"/> 修士論文(またはこれに代わる研究報告書)の要旨	PDF (スキャンデータ)	*要旨本文の他に目次も付してください。 *A4判の用紙に横書きで1000~2000字程度で作成してください。上下左右の余白は15mm以上空け、下余白中央には、「ページ番号/総ページ数」を記入し、目次を付けてください。
5	<input type="checkbox"/> 志願者評価書 <small>様式2号</small>	PDF (指定様式あり)	「志願者評価書」の該当箇所へ、PDF化した書類をアップロードしてください。 *出身大学院の指導教員等に作成を依頼し、提出してください。
6	<input type="checkbox"/> 成績証明書	PDF (スキャンデータ)	「出身校証明書類」の該当箇所へ、PDF化した書類をアップロードしてください。 *出願資格にかかわる最終出身大学等の発行によるものを提出してください。 *成績証明書に入学年月と修了(卒業)年月が明記されている場合は、修了(卒業)証明書の提出は不要です。
	<input type="checkbox"/> 卒業・修了証明書または卒業・修了見込証明書	PDF (スキャンデータ)	【注意】合格後(入学手続時)に証明書の原本、もしくは原本証明がなされた複写の提出が必要になります。合格後(入学手続時)に提出された書類が出願時にアップロードした書類と異なる場合、または提出できない場合は、入学許可を取り消します。原本は必ず保管しておいてください。出願時に卒業・修了見込証明書を提出した者は、入学までに卒業・修了証明書の提出が必要になります。
	<input type="checkbox"/> 成績証明書、卒業・修了証明書等の日本語訳 <small>*該当者のみ</small>	PDF (スキャンデータ)	*日本語または英語以外の言語の成績証明書、卒業証明書等を提出する場合は、日本語訳(志願者自身による翻訳可)を提出してください。
7	<input type="checkbox"/> 個別の入学資格審査結果の写し <small>*該当者のみ</small>	PDF (スキャンデータ)	「個別の入学資格審査結果」の該当箇所へ、PDF化した書類をアップロードしてください。

外国籍の者(日本の在留資格「永住者」「定住者」を除く)

8	<input type="checkbox"/> 留学にかかる経費負担計画書 <small>様式3号</small>	PDF (指定様式あり)	「留学にかかる経費負担計画書」の該当箇所へ、PDF化した書類をアップロードしてください。 *該当者のみ提出してください。
9	<input type="checkbox"/> 住民票の写し	PDF (スキャンデータ)	「住民票の写し」の該当箇所へ、PDF化した書類をアップロードしてください。 *市・区役所が発行する「住民票の写し」をアップロードしてください。 アップロードできるファイルの拡張子は、.pdf .png .jpeg .jpgです。ファイルサイズの上 限は20MBです。
10	<input type="checkbox"/> 確認証明書 <small>様式4号</small>	PDF (指定様式あり)	「日本語学校・専門学校等証明書類」の該当箇所へ、PDF化した書類をアップロードしてください。 *日本国内の学校等(日本語学校・専門学校等含む)に現在在籍している者、または最終学歴が日本国内の学校等(日本語学校・専門学校等含む)にあたる者は在籍した機関に依頼し、提出してください。
11	<input type="checkbox"/> 在籍校等の成績証明書	PDF (スキャンデータ)	*出願時に日本の大学に学位取得を目的として在籍、もしくは既卒の場合、提出は不要です。 *在籍期間が短く、「在籍校等の成績証明書」が提出できない(成績が出ていない)場合は、「確認証明書」および「在籍証明書」を提出してください。
12	<input type="checkbox"/> 在留資格認定証明書 大学代理申請願 <small>様式5号</small>	PDF (指定様式あり)	「在留資格認定証明書大学代理申請願」の該当箇所へ、PDF化した書類をアップロードしてください。 *「在留資格認定証明書」の申請が必要な方は提出してください。
13	<input type="checkbox"/> 在留資格認定証明書 交付申請書	メール連絡	*大学院HPに掲載されている「在留資格認定証明書交付申請書」に必要な事項を入力の上、EXCELの形式で以下のアドレスに送信してください。 件名:大学院〇期入試 在留資格認定証明書申請 E-mail: admssn2@obirin.ac.jp



提出書類の不備のため、出願を受け付けられない場合があります。
チェックリストを活用してください。

〈奨学金の申請者〉学而事人・私費留学生奨学金を希望する者は、P.16、P.17の申請資格を確認のうえ、申請書類も提出してください。

【重要】 本学はインターネット出願を導入しています。併せて、P.1 出願から入学手続きまでの流れを必ず確認してください。

個別の入学資格審査

「個別の入学資格審査」について

出願前に、下記の個別の入学資格審査の対象となる者について、各課程の出願条件と同等以上の学力があるかという出願資格の有無を判定する審査です。入学者選抜試験ではありませんので、注意してください。

■ 個別の入学資格審査の対象となる者

● 博士前期課程・修士課程

次の1.および2.に該当する者。

1. 短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生やその他の教育施設の修了者など、大学卒業資格を有していない者であり、本大学院に入学する際に22歳に達している者。

なお、大学アドミニストレーション実践研究学位プログラム（通信教育課程）を希望する者は、以下の要件を充足していれば、「個別の入学資格審査」の対象者と見なす。

- 出願時において教育機関に4年以上（常勤・非常勤は不問）の職務経験を持ち、2023年4月1日までに25歳に達している者

2. 短期大学、高等専門学校や3年制大学等の他に、学歴や職歴（アルバイト除く）・研究業績等がある者。ただし、ここで言う他の学歴に日本語学校等の語学学校は含まない。

● 博士後期課程

次の1.および2.に該当する者。

1. 短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校を卒業または修了後、本学各学位プログラムの関連分野での研究実績、あるいは高度な職務経験を有する者

2. 上記1.の研究業績や職務により取得した特許、著書、学術論文などにおいて、修士の学位論文と同等以上の学術的価値が認められる実績が確認できる者

■ 申請期限（提出書類は申請期限必着）

	I期入試志願者	II期入試志願者	III期入試志願者	III期B日程入試志願者
提出期限（必着）	2022年7月7日（木）	2022年9月14日（水）	2022年11月16日（水）	2023年1月10日（火）

「個別の入学資格審査」の結果は、メールにて出願期間開始日前までに通知します。

同審査の結果、「出願資格有」と認定され出願する場合は、インターネット出願の登録および受験料を振り込み、出願書類を提出してください。

「出願資格有」とされた審査結果は、2023年度入学者選抜（I期～IV期）において有効です。

■ 申請方法

本学HPの大学院ページから「個別の入学資格審査申請書」をダウンロードし、必要事項を入力後、申請期限までにメールで送付してください。

[送付先] admssn2@obirin.ac.jp

[件名] 大学院 個別の入学資格審査申請（申請者のカナ氏名）

[宛名] 桜美林大学大学院 入学部

必要書類の添付

上記のメールに、以下の必要書類を添付してください。

- 個別の入学資格審査申請書
- 【学歴】出身校（短期大学・高等専門学校等から）の成績証明書、卒業証明書（修了証明書）
学士課程については、既修得単位や在籍年数がわかるもの
- 【職歴】職務経歴に関する証明書類（職務経歴を記載した場合）
具体的に職務内容（従事した業務の内容や就業年数等）がわかるもの（アルバイトは含みません）
- 【免許・資格等】取得した資格に関する証明書類（資格欄を記載した場合）
- 希望の学位プログラムにおける研究計画書（A4 2～3枚程度・自由書式）

■ 注意事項

「個別の入学資格審査」は、入学者選抜試験を免除するものではなく、出願資格の有無を判定するものです。

判定の結果、「出願資格有」と認定された後は、各選抜方式別の出願条件を満たしていることを確認のうえ、定められた出願期間内に所定の書類を提出し、入学者選抜試験を受験する必要があります。

また、本学の「個別の入学資格審査」の結果は、本大学院の該当する入学試験にのみ効力が及ぶものです。

出願～入学手続／学納金

1 出願上の注意

1. 受験時および修学時に特別な配慮・支援を要する志願者は、事前に相談してください。事前相談を希望される方は、受験生サイト(本学 Web サイト)より申請書をダウンロードのうえ、必要事項を記入し、桜美林大学大学院 入学部宛にメールで送付してください。書類を確認次第、大学より事前相談の日程等に関する連絡を差し上げます。

〈提出期限〉

I期入試:8月1日(月) / II期入試:10月11日(月) / III期入試:12月5日(月) / III期B日程:2023年1月16日(月)

〈提出先〉

メール:info-ctr@obirin.ac.jp

ご質問、ご不明点がありましたら入学部インフォメーションセンター(TEL:042-797-1583)まで連絡してください。

2. 出願書類に不備があるものは受け付けることができません。
3. 出願書類提出後に志望学位プログラム・選抜方式等の変更はできません。出願前に間違いがないか必ず確認してください。

2 事前相談について

出願前に希望する研究指導教員との「事前相談」を行うことができます。

※博士後期課程を志願する場合は、事前相談を必須としていますので、出願登録開始日より前に申し込みをしてください。万が一、事前相談を行わずに志願をされた場合は、志願を受け付けることができませんので、了承ください。

■ 目的

事前相談は、本学大学院の受験を検討するにあたり、研究テーマが希望する研究指導教員の指導可能なテーマであるかどうかを確認するために行われるものです。

■ 注意点(必ず確認してください)

事前相談の有無や相談内容によって、入試の可否に影響することはありません。また、研究計画書作成の助言や、入試の内容に関することなどは回答できません。

■ 申込方法

本学大学院サイト「事前相談」(<https://www.obirin.ac.jp/academics/postgraduate/entrance/consultation.html>)より以下の項目を入力して申し込みをしてください。

※お送りいただいた情報は、事前相談にのみ使用させていただきます。

■ 事前相談の対応可能期間

出願期間より前に行うようにしてください。

出願登録開始日から合否発表日までの期間は、事前相談を行うことができません。

また、夏期、冬期休業期間、土日祝祭日は受け付けできません。

※長期休業中にご連絡をいただいた場合、返信が遅くなる場合があります。

3 受験料 35,000円

受験料は以下の2つの支払い方法があります。インターネット出願をする際に選択してください。

1. 指定のコンビニエンスストアでの支払い
2. クレジットカードを利用しての支払い

注) 一度納入された受験料は返金できません。

4 試験当日の注意

1. 事前に「受験票」を確認し、試験当日に必ず手元に準備してください。
2. 試験当日は、受験票に記載されている集合時間までに指定されたURL（オンライン上の部屋）へ入室してください。
3. 集合時間から50分以上経過した場合は、原則受験することができません。接続不良が起きたときなどは、受験票に記載されている電話番号へ電話を入れ、担当者の指示に従ってください。
4. 携帯電話、スマートフォン、PHS、アラーム付時計等電子機器の試験中の使用は禁止です。

5 オンライン面接における注意事項

1. 事前の接続テストと同じ環境で受験してください。（同じ部屋・パソコン等環境の確保）
2. 受験する本人の環境不備により、試験に不具合が生じた場合は、試験が認められない可能性があります。十分な準備をした上で、受験してください。
3. 試験中は、バーチャル（仮想）背景は使用しないでください。
4. 不正防止の為、試験中の様子は録画しますので、予めご了承ください。
5. 受験する環境（部屋）に、受験する本人以外の者が在室しないようにしてください。
6. 試験途中での入退室は出来ません。
7. 試験中、面接者が指示する以外のパソコン操作（インターネット検索等）は行わないでください。
8. 試験に利用するパソコン（スマートフォン）および筆記用具以外の不正行為につながる恐れのあるもの（電子機器等）は持ち込まないでください。
9. 試験内容の記録（録画や録音、メモ等）は行わないでください。
10. その他、不正行為に該当するような行為は行わないでください。

※試験当日、または後日、上記に違反するような事案が判明した場合（SNS等での発信を含む）には、合格した場合であっても不合格となる可能性があります。

※その他、オンライン面接に伴う事前準備事項および試験当日の諸注意事項については、本学大学院サイトに公開している案内を別途確認してください。（<https://www.obirin.ac.jp/academics/postgraduate/entrance/>）

6 合否通知

1. インターネット出願サイトの個人ページにログインし、出願一覧から受験した選抜の選考結果を確認してください。
2. 合否については、上記の合否照会方法で確認してください。合否の理由等も含め電話やメールでの問い合わせには、一切回答できません。
3. 合否照会は合格発表日の10時から確認ができます。

7 入学手続等（学納金の納入について）

1. 合格者のみ、インターネット出願サイトの個人ページに、合格入学手続きの案内が掲出されます。納入期限までに入学金と春学期分の授業料等を、銀行振込にて納入してください。振込依頼人は必ず受験番号+カナ氏名をご入力ください。郵送および本学窓口での取り扱いはできませんので、注意してください。
2. 期限内に前項の納入金が無い場合は、入学の意志がないものとみなします。また、期限後のお振り込みは一切受け付けません。
3. 入金確認後、「入学許可証」等を送付いたします。振込控えは大切に保管してください。
合格発表後、住所に変更があった場合は、至急入学部インフォメーションセンター（TEL：042-797-1583）に連絡してください。
4. 入学までに卒業・修了証明書を提出してください。ただし既卒者等で卒業もしくは修了が成績証明書により確認できる場合の提出は不要です。

【入学辞退について】

やむを得ない理由により入学を辞退する場合は、入学部インフォメーションセンター（TEL：042-797-1583）へ連絡し、所定の「入学辞退届」を取り寄せてください。必要事項を記入のうえ、入学部インフォメーションセンターへ提出してください。受理された者に入学金を差し引いた納入金（返金の際の振り込み手数料除く）を返金します。いかなる理由でも入学金の返金はできません。

入学辞退申請をする方は、以下の入学辞退申請期限までに手続を完了してください。

【入学辞退申請期限】

必要事項を記入した「入学辞退届」の必着期日：2023年3月31日（金）

※申請期限を過ぎた場合はいかなる理由においても入学辞退の受領および学納金の返還はできません。

※入学辞退の申請を完了した場合、いかなる理由においても入学辞退の申請を撤回することはできません。

■入学金

入 学 金	100,000円
-------	----------

■施設設備費・授業料(全学位プログラム共通)

			1 年 次	2 年 次	3 年 次
博士前期課程・ 修士課程	春学期	施設設備費	50,000円	50,000円	—
		授 業 料	600,000円	600,000円	—
		卒 業 諸 費	—	50,000円	—
	秋学期	施設設備費	50,000円	50,000円	—
		授 業 料	600,000円	600,000円	—
	合 計		1,300,000円	1,350,000円	—
博士後期課程	春学期	施設設備費	50,000円	50,000円	50,000円
		授 業 料	600,000円	600,000円	600,000円
		卒 業 諸 費	—	—	50,000円
	秋学期	施設設備費	50,000円	50,000円	50,000円
		授 業 料	600,000円	600,000円	600,000円
	合 計		1,300,000円	1,300,000円	1,350,000円

● 「入学金」について

2023年3月に桜美林大学、桜美林大学大学院、桜美林大学日本語文化学院を卒業・修了見込みの方は入学金が不要です。

その他の時期に卒業・修了した方の入学金は50,000円になります。

※年間最大32単位まで修得ができます

- 委託徴収金として、修了予定年次に卒業諸費(50,000円)を徴収します。秋学期入学生は、修了予定年次の秋学期に徴収します。
- 履修する科目によっては別途実習費等が必要となります。

■実験実習費

国際学術研究科国際学術専攻 博士前期課程 心理学実践研究学位プログラムのうち、臨床心理分野の学生、およびポジティブ心理分野において公認心理師の資格取得を目指す学生は、次の実験実習費を納入してください。

	1 年 次	2 年 次	合 計
実験実習費	150,000円	200,000円	350,000円

※専門健康心理士資格取得のための現場実習を履修する場合、別途費用が必要になります。

奨学金制度・給付制度等

1 奨学金制度等

● 学而事人奨学金 (減免)

P.16を参照してください。

● 私費留学生奨学金 (減免)

P.17を参照してください。

● 独立行政法人日本学生支援機構奨学金 (貸与)

本奨学金は貸与型で経済的理由により修学に困難がある優れた学生に対し、学生本人名義で貸与されます。

● 地方公共団体・民間育英団体奨学金

募集は大学を通じて行うものと各団体が直接行うものがあります。大学に募集案内があった場合は学内掲示板にてお知らせします。

● 桜美林大学提携教育ローン

① 三井住友銀行提携教育ローン

三井住友銀行提携の一般的教育ローンより有利な条件を設定した融資制度です。

② オリエン트コーポレーション「学費サポートプラン」

株式会社オリエントコーポレーション提携の学納金・寮費を立替払いとする融資制度です。

③ ジャックス「ジャックスの教育ローン」

株式会社ジャックス提携の入学金・学納金等と立替払いとする融資制度です。

【奨学金制度等についての問い合わせ先】

町田キャンパス事務室 学務部学生課 (TEL:042-797-3128 受付 平日/9:00~17:00)

2 長期履修生制度・短期履修生制度について

1. 博士前期課程・修士課程の方に該当する制度です。
2. 職業を有している学生が原則として留年や休学をすることなく、2年以上4年以内で計画的に履修する長期履修生制度があります。詳細は入学後にご案内します。
3. 一定の要件 (実務経験、研究業績等) を満たす方を対象に、1年ないし1年と1セメスターで修了となる短期履修生制度があります。詳細は入学後にご案内します。

奨学金制度・給付制度等

3 学而事人奨学金

経済的理由で進学をあきらめざるを得ない者に対して、進学を提供します。
各学期の授業料30%減免することで、最大4セメスタを支援する奨学金制度です。
減免となる資格は、学期ごとに継続可否の審査があります。

■ 申請方法

- ① 出願と同時に申請すること。出願期間外の申請はできません。
- ② 2023年度4月入学者選抜（Ⅰ期、Ⅱ期、Ⅲ期、Ⅲ期B日程）および2023年度9月入学者選抜（Ⅳ期）において募集します。

■ 対象研究科

博士前期課程・修士課程のすべての学位プログラム

■ 採用予定者数

1学年あたり8人

■ 奨学金の申請資格

下記の①～③は奨学生としての前提条件となりますので、必ず確認し、了解の上、出願してください。

- ① 日本国籍を有する者、または永住者、定住者、日本人（永住者）の配偶者とその子
- ② 本学大学院の出願資格を満たす者
- ③ 家計収入が以下の基準を満たすこと
 - 給与（年金）所得者 850万円未満（課税前の金額）
 - 給与所得者以外 440万円未満（必要経費等差し引き後の金額）

■ 申請書類

- ① 「最新（令和3年中）の所得証明書」（市区町村役場が発行）（3か月以内に発行のもの）
 - ※家計支持者が出願者本人である場合
 - 未婚者……出願者本人の所得証明書
 - 既婚者……出願者本人及び配偶者の所得証明書
 - ※家計支持者が父母である場合
 - 父母両方の所得証明書
- ② 本人及び家族全員の住民票（市区町村役場が発行）（3か月以内に発行のもの）

■ 奨学金の継続条件

学期ごとに継続審査を行います。条件は以下の通りです。

- ① 入学時からの通算GPAが3.0以上であること
 - ※GPAとは、Grade Point Average の略称で成績評価の平均値を示します（最高値は4.0）
- ② 学期ごとに大学が定めた累計修得単位数の基準を満たすこと
- ③ 各学期終了時に、修学状況報告書を提出すること
- ④ 上記継続条件を満たすことができなかった場合、翌学期の授業料減免は停止、停止2回目まで、奨学生としての資格を失い、廃止となる

詳細は、入学試験に合格し、かつ奨学生として採用された後、書面にてお知らせします。

4 私費留学生奨学金

経済的理由により修学が困難な「留学」ビザを持つ私費外国人留学生を対象とし、各学期の授業料の30%を減免します。

入学から修了までの標準修業年限以内の期間を支援する奨学金制度です。

減免となる資格は、学期ごとに継続可否の審査があります。

■ 申請方法

- ① 出願と同時に申告すること。出願期間外での申請はできません。
- ② 2023年度4月入学者選抜（Ⅰ期、Ⅱ期、Ⅲ期）および2023年度9月入学者選抜（Ⅳ期）において募集します（博士後期課程は、Ⅲ期およびⅣ期において募集）。

■ 対象学位プログラム

博士前期課程・修士課程及び博士後期課程のすべての学位プログラム

■ 採用予定者数

1学年あたり24人

■ 奨学金の申請資格

下記の①～④は奨学生としての前提条件となりますので、必ず確認し、了解の上、出願してください。

- ① 「留学」の在留資格を有していること（過去6か月の間に「留学」の在留資格を保有し、現在在留期間の更新手続中の者を含む）
- ② 仕送り金額（学納金分の金額を除く）が、平均月額90,000円以下であること
- ③ 在日している扶養者がいる場合は別途ご相談ください。
- ④ 学内外問わず、他から給付を受けている奨学金等の月額が100,000円未満であること。

■ 申請書類

- ① 留学にかかる経費負担計画書 [様式3号](#)

■ 奨学金の継続条件

学期ごとに継続審査を行います。条件は以下の通りです。

- ① 入学時からの通算GPAが3.0以上であること
 - ※GPAとは、Grade Point Average の略称で成績評価の平均値を示します（最高値は4.0）
 - ※博士後期課程の学生については、GPAによる継続審査はありません。
- ② 学期ごとに大学が定めた累計修得単位数の基準を満たすこと
- ③ 各学期終了時に、修学・生活状況報告書を提出すること
- ④ 上記継続条件を満たすことができなかった場合、翌学期の授業料減免は停止、また停止2回目で、奨学生としての資格を失い、廃止となる

詳細は、入学試験に合格し、かつ奨学生として採用された後、メールにてお知らせします。

学生寮・住まい紹介

1 学生寮

入寮を希望する方は、本学HPの入学手続についてに添付されている「桜美林大学 学生寮のご案内」を確認のうえ、申し込みしてください。

■ 学生寮についての問い合わせ先

- **国際寮** TEL: 042-750-5564 ● **第二国際寮** TEL: 042-730-5015

寮名	国際寮		第二国際寮
収容定員	203名 (Aタイプ 個室)	44名 (Cタイプ 二人部屋)	84名 (Aタイプ 個室)
新規入居者数 (目安)	100人 (留学生60人)	22人 (留学生12人)	40人 (留学生25人)
食事	食事無し	食事無し	食事無し
寮費	春学期 (4月～7月)	220,000円	140,000円
	秋学期 (9月～1月)	275,000円	175,000円
	入寮費 (入寮時のみ)	120,000円	60,000円
	退去時清掃費用 (入寮時のみ)	20,000円	10,000円
	管理費等	月額 10,000円	月額 5,000円
その他	光熱水費・通信費 (LAN回線) は月額平均10,000円を上限として寮費に含むものとし、超過分については別途請求させていただきます。	光熱水費・通信費 (LAN回線) は月額平均15,000円 (一室) を上限として寮費に含むものとし、超過分については別途請求させていただきます。	光熱水費・通信費 (LAN回線) は月額平均10,000円を上限として寮費に含むものとし、超過分については別途請求させていただきます。
連絡先	042-750-5564 (受付 平日/9:00～17:00)		042-730-5015 (受付 平日/9:00～17:00)
所在地	相模原市中央区淵野辺3-5-41		相模原市中央区鹿沼台1-10-22
ホームページ	www.obirindorm.ne.jp/fih/		www.obirindorm.ne.jp/fih2/
アクセス	JR横浜線淵野辺駅北口まで徒歩約4分 町田キャンパスヘスクールバス約8分		JR横浜線淵野辺駅南口まで徒歩約3分 町田キャンパスヘスクールバス約8分

※寮費等は変更になる場合があります。

(2022年6月現在)

2 住まい紹介

本学では新入生、在学生の住まい (学生マンション、アパート) の紹介は、株式会社ナルドと桜美林学園消費生活協同組合が行っています。

- **株式会社ナルド** 〒194-0213 東京都町田市常盤町3654 (月～金/9:00～18:00) TEL: 042-797-9944 FAX: 042-797-2046 URL: <http://www.narudo.co.jp/>
- **桜美林学園消費生活協同組合** (免許証番号 東京都知事 (4) 第80794号) 〒194-0294 東京都町田市常盤町3758 TEL: 042-797-7600 (住まい関係専用電話、月～金/10:00～17:00) TEL: 042-797-0543 (生協代表電話) FAX: 042-797-2652 E-mail: coop.ml@obirin-coop.or.jp URL: <http://www.univcoop.jp/obirin/>

3 入学後の学生生活について

本学では、健康増進法や喫煙防止教育の推進等、各省庁や社会からの要望を受け、大学の学生並びに教職員の健康を増進するため、学内を全面禁酒・禁煙としています。

入学後の学生生活については、以下「学則」および「学生生活ガイド」の内容を必ず確認してください。なお、学則や学生生活上のルールは変更することがありますので、入学後改めて確認してください。

- **学則** https://www.obirin.ac.jp/campus_life/rules.html
- **学生生活ガイド** https://www.obirin.ac.jp/campus_life/student_life_guide.html

主たる授業拠点について

主たる授業拠点一覧

博士前期課程・修士課程	専攻	学位プログラム	主たる授業拠点
国際学術研究科	国際学術専攻	グローバルコミュニケーション実践研究学位プログラム	千駄ヶ谷キャンパス
		心理学実践研究学位プログラム	町田キャンパス
		経営学学位プログラム	新宿キャンパス
		大学アドミニストレーション実践研究学位プログラム(通信教育課程) ※スクーリング時	千駄ヶ谷キャンパス
		老年学学位プログラム	千駄ヶ谷キャンパス

博士後期課程	専攻	学位プログラム	主たる授業拠点
国際学術研究科	国際学術専攻	国際学術研究学位プログラム	経営学研究領域： 新宿キャンパス
			心理学研究領域： 町田キャンパス
		老年学学位プログラム	千駄ヶ谷キャンパス

※学びの分野・領域によってキャンパスが異なります。

(2022年6月時点)

変更の可能性がありますので、最新の情報は本学HP(大学院ページ)を確認してください。

本書を作成される方へ

- ① 志願者を客観的に評価していただける方に作成をお願いするものです。
- ② 1.及び2.についてはPC等で作成し、印刷したものを貼付されても差し支えありませんが、はがれないようにしっかりとのり付けしてください。
- ③ 「評価者氏名」欄に限っては、必ず直筆でお願いします。また押印もあわせてお願いします。

【志願者評価書】

志願者氏名 _____

1. どのような立場で、どのくらいの期間、志願者を知っていますか。

2. 志願者の能力・人物について、あなたの意見や評価する特記事項など具体的に書いてください。

留学にかかる経費負担計画書

志願者氏名	
フリガナ	

桜美林大学に留学する間の学納金等の費用について、該当する支出元すべての□にチェック（レ点）をし、金額を明記してください。

合計金額が、1年間の学納金を十分賄える金額となるように記入してください。

支出元		金額（単位：日本円）	
<input type="checkbox"/>	本人	学納金 約 _____ 万円／年	生活費等 約 _____ 万円／月
<input type="checkbox"/>	親族 (氏名： _____) (志願者との関係： _____) (住所： _____)	学納金 約 _____ 万円／年	生活費等 約 _____ 万円／月
<input type="checkbox"/>	政府またはその他財団 (奨学金名称等： _____)	学納金 約 _____ 万円／年	生活費等 約 _____ 万円／月
<input type="checkbox"/>	その他 (詳細： _____)	学納金 約 _____ 万円／年	生活費等 約 _____ 万円／月
合計：		学納金 約 _____ 万円／年	生活費等 約 _____ 万円／月

上記に示しました内容に相違ないことを誓約いたします。

志願者署名： _____

日付： _____ 年 _____ 月 _____ 日

奨学金の申請を希望している方は、

下記の内容も確認のうえ、□にチェック（レ点）してください。

学生募集要項P.16～P.17の「奨学金の申請資格」を確認しました。

※主たる家計支持者の年収、仕送り金額が基準を上回っている場合は、奨学生選抜の対象にはなりません。

確認証明書

以下の志願者が出願するにあたり、提出すべき書類が指定どおり用意されていることを確認するとともに、志願者の学生生活について以下のことを証明いたします。

志願者氏名： _____

1. 在籍校名： _____

2. 志願者の在籍期間： _____ 年 _____ 月 ～ _____ 年 _____ 月（ _____ 年 _____ 月）

3. 志願者の出席日数：
もしくは、出席時間数：

出席すべき（日数 _____ 日）うち欠席（日数 _____ 日）出席率 _____ %
（時間数 _____ 時間）（時間数 _____ 時間）

4. 志願者の特筆すべき事項（以下の記入欄に授業態度・生活態度を含めて記入してください）

記載者氏名 _____ (印)

勤務先名(学校名)： _____

住所・電話番号

〒

TEL _____

在留資格認定証明書 大学代理申請願

私は海外在住のため、桜美林大学入学における留学ビザ取得に必要な「在留資格認定証明書」の申請を、私自身が日本で行うことができません。つきましては、私に代わり桜美林大学に同証明書の申請手続きを行っていただきますよう、宜しくお願いいたします。

なお、以下の各項の内容について了承の上、依頼いたします。

- 提出した書類に不備・不足のあった場合、代理申請が行われないことについて異議申し立てをしません。
- 入国管理局から「在留資格認定証明書」が発行されない場合、桜美林大学に責任を求めません。
- 入学許可日から入学日・来日予定日までの間の日数が少なく、その結果、日本への入国が入学式、授業開始日、各種オリエンテーション参加に間に合わない場合であっても、それを承諾し、異議申し立てをしません。

記入日	(西暦) 年 月 日
志願者氏名	
フリガナ	
E-mail	(合格後、手続き等の案内はメールで連絡します)
住所	(この欄に記入された住所に在留資格認定証明書を送付します。国名まで英語表記(アルファベット表記)で正確に且つ丁寧に記入してください)
電話番号	(国番号から記入してください)

※既に日本の日本語学校・高等学校等に在籍しており、日本の在留資格（留学ビザ等）を持っている方はこの書類の提出は不要です。

大学(学士課程)における 「公認心理師」指定科目の科目履修確認表

区分A対象者(4年制大学において公認心理師法施行規則第1条の2で定める科目を履修/履修中)用

公認心理師指定科目に対応する所属大学の科目名*を下表に記入してください。

所属大学において一つの指定科目を複数科目で構成している場合は、該当する科目名をすべて記入してください。

履修欄は、履修した科目、あるいは履修中の科目の□に✓を付けてください。

※以下の25科目を全て学部卒業までに履修し単位取得する必要があります。

なお、所属大学から文部科学省及び厚生労働省へ申請し、「国の確認」を受けている必要があります。

「国の確認」を受けていない科目は公認心理師の受験資格取得に利用できません。

公認心理師指定科目名	所属大学の対応科目名	履修済	履修中
① 公認心理師の職責		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 心理学概論		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 臨床心理学概論		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④ 心理学研究法		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑤ 心理学統計法		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑥ 心理学実験		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑦ 知覚・認知心理学		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑧ 学習・言語心理学		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑨ 感情・人格心理学		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑩ 神経・生理心理学		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑪ 社会・集団・家族心理学		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑫ 発達心理学		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑬ 障害者(児)心理学		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑭ 心理的アセスメント		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑮ 心理学的支援法		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑯ 健康・医療心理学		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑰ 福祉心理学		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑱ 教育・学校心理学		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑲ 司法・犯罪心理学		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑳ 産業・組織心理学		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
㉑ 人体の構造と機能及び疾病		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
㉒ 精神疾患とその治療		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
㉓ 関係行政論		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
㉔ 心理演習		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
㉕ 心理実習(80時間以上)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

大学(学士課程)における 公認心理師指定科目(読み替え科目)履修確認表

区分E対象者(2017年9月15日より前に、4年制大学において施行規則附則第3条で定める科目を履修/履修中)用

公認心理師指定科目に対応する所属大学の読み替え科目名を下表に記入してください。

各番号に該当する科目は1科目のみです。同じ番号内で2科目以上履修していても1科目までしか認められません。

履修欄は、履修した科目の□に✓を付けてください。

	公認心理師指定科目名	所属大学の対応科目名	履修
	① 公認心理師の職責		
I (3科目以上)	② 心理学概論		<input type="checkbox"/>
	③ 臨床心理学概論		<input type="checkbox"/>
	④ 心理学研究法		<input type="checkbox"/>
	⑤ 心理学統計法		<input type="checkbox"/>
	⑥ 心理学実験		<input type="checkbox"/>
	II (4科目以上)	⑦ 知覚・認知心理学	
⑧ 学習・言語心理学			<input type="checkbox"/>
⑨ 感情・人格心理学			<input type="checkbox"/>
⑩ 神経・生理心理学			<input type="checkbox"/>
⑪ 社会・集団・家族心理学			<input type="checkbox"/>
⑫ 発達心理学			<input type="checkbox"/>
⑬ 障害者(児)心理学			<input type="checkbox"/>
III (2科目以上)	⑭ 心理的アセスメント		<input type="checkbox"/>
	⑮ 心理学的支援法		<input type="checkbox"/>
	⑯ 心理演習		<input type="checkbox"/>
	⑰ 心理実習		<input type="checkbox"/>
IV (2科目以上)	⑱ 健康・医療心理学(※)		<input type="checkbox"/>
	⑲ 福祉心理学		<input type="checkbox"/>
	⑳ 教育・学校心理学		<input type="checkbox"/>
	㉑ 司法・犯罪心理学		<input type="checkbox"/>
	㉒ 産業・組織心理学		<input type="checkbox"/>
V (1科目以上)	⑱ 健康・医療心理学(※)		<input type="checkbox"/>
	㉓ 人体の構造と機能及び疾病		<input type="checkbox"/>
	㉔ 精神疾患とその治療		<input type="checkbox"/>
	㉕ 関係行政論		

※Vは⑱⑳㉑㉒から1科目以上。ただし、⑱を分類Vの科目として扱う場合は、分類IVは⑲㉑㉒から2科目以上とする。

個人情報の取り扱いについて

出願書類に記入された個人情報は「個人情報保護の観点」をもって入学者選抜での審査ならびに今後の入学者選抜における基礎資料として使用します。

個人情報を本人の承諾なしに第三者（委託業務先を除く）に提供することはありません。

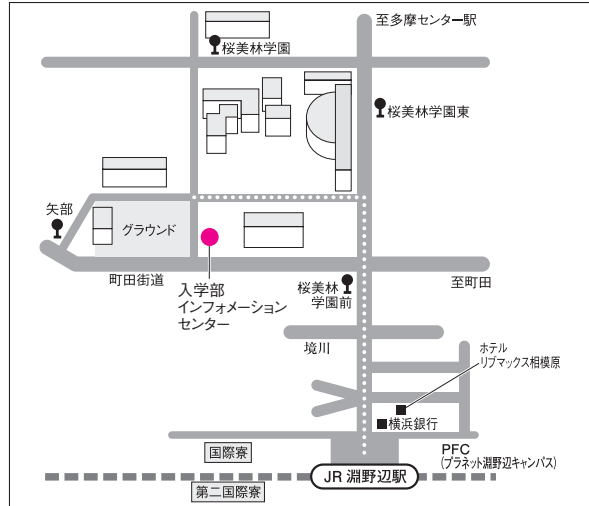
合格のうえ、入学手続きを完了された方には、入学関係書類を学内関係部局から送付いたしますので、必要に応じて住所等の情報を提供いたします。

入学後の教育支援等においても「個人情報保護の観点」にたち、これらの情報を厳重かつ慎重に取り扱います。



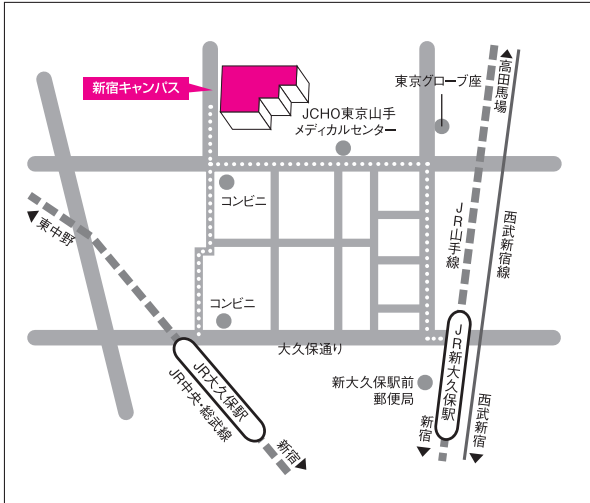
桜美林学園は、2021年に創立100周年を迎えました。

町田キャンパス(本校)



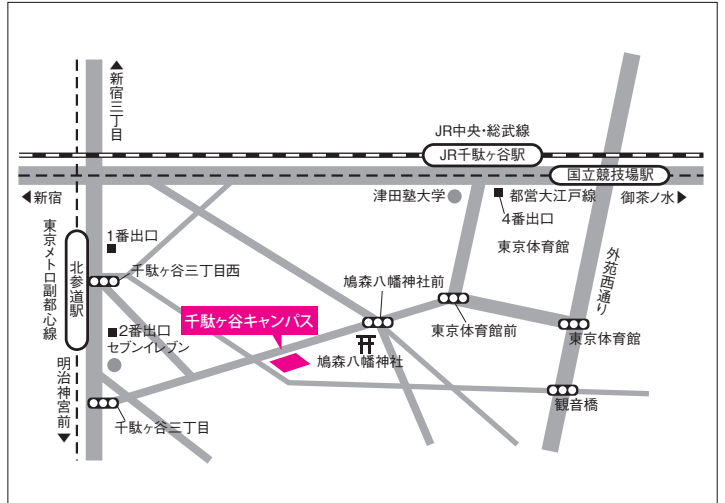
- 所在地 / 〒194-0294 東京都町田市常盤町3758
TEL : 042-797-1583
- 交通 / JR横浜線「淵野辺駅」北口よりバスにて約8分
徒歩の場合約25分

新宿キャンパス



- 所在地 / 〒169-0073 東京都新宿区百人町3丁目23-1番
- 交通 / JR山手線「新大久保駅」より徒歩にて約8分
JR中央・総武線「大久保駅」より徒歩にて約6分

千駄ヶ谷キャンパス



- 所在地 / 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-1-12
- 交通 / JR中央線「千駄ヶ谷駅」より徒歩6分
東京メトロ副都心線「北参道駅」より徒歩5分

 **桜美林大学 大学院**
J. F. Oberlin University Graduate Division

お問い合わせ先 / 桜美林大学入学部 インフォメーションセンター
TEL : 042-797-1583 <http://www.obirin.ac.jp/> info-ctr@obirin.ac.jp

